八幡平・松川温泉ＢＣ山スキー

2020年12月29日～31
メンバー：Ｔ野・Ａ原・Ｓ口・Ｉ崎・Ｔ山・Ｙ科・Ｔ村Ｍ・Ｔ村Ｅ

クリスマス寒波でドカ雪が降って去年とは違って今年は小雪で困ることはない！！と大喜びしていたのだが、よくよく調べてみると八幡平の下倉スキー場の積雪は何とたったの50㎝！！「記録的な小雪の去年が70㎝だから全然降ってねーじゃん！！」困ったもんだと思っていたら年末年始は5～6年に一度の強烈な寒気が日本列島を直撃するらしい！！「いやいや、僕たちが行く時にはそんなに降らなくていいんだよ、控え目にお願いしますよ（汗）」ということで果たしてどんなことになるか・・・。
では報告です。

12/29　　下倉スキー場＋シール散策

メンバー：Ｔ野・Ａ原・Ｓ口

前夜、秋葉原をＴ野・Ａ原・Ｓ口の3人で出発。先発隊のメンバーは天気の良い恵比寿森で快適な山スキーを味わったそうな・・・「いいなぁー」。
長者原ＳＡで仮眠して、八幡平に向かう。西根の「すき家」で朝食を食べていると、先発隊は三ツ石山に向かうというメールが入る。まだ寒波は来ていないようで、今日なら山に入れそうだが、我々は寝不足なので今日は無理をせずに下倉スキー場でゲレンデスキーを楽しむことにする。
下倉スキー場はしっかり整地されていてブッシュもなくカッ飛べて気持ちいい！！しかし、なぜかゲレンデだと同じコースを３回滑ると飽きてしまうウルトラマンのような（地球に3分しかいられない）Ａ原さん。（山は凄ーく楽しそうに滑るのに・・・不思議だ？）
まあ、僕もシールをつけてちょっと歩いてみたかったので11:15頃に二人でシールをつけて山に入ることに・・・。

■快適でリーズナブルなベース、松川温泉。

「じゃーグッチ、13:00にゲレンデのベースで合流ね！！」と中倉山目指して歩き出す。脛ラッセルで緩い登りを歩くと「あぁー山スキーに来たんだなー」という気になる。そう、歩きでも山スキーは楽しいのだ。緩く登った後は平坦な森が中倉山基部まで続く。あわよくば中倉山まで登って奥産道に向けて1本滑ろうと思っていたが、思ったより距離があって13:00までにスキー場のベースに戻るのは難しそうだ。それに、軽い散歩のつもりだったので食料も飲み物も持ってきていない。これでは万が一のことがあっても申し開きができない。初日から無理は禁物と中倉山の基部で引き返すことにする。トレース沿いに戻るがシールが滑ってこれも気持ちがいい。下倉山まで戻ると少し傾斜が出てきたのでシールを外して滑ることにする。やや薮っぽいが雪が軽いのでまあまあ楽しく滑れる。気持よく滑っていくとすぐに奥産道に出て少し推進滑降すればゲレンデに戻れた。ゲレンデでちょうどグッチーと遭遇したので、もう1本ゲレンデ滑ってベースで休憩。Ａ原さんが「わたしゃもう満足したからビール飲んで待ってる！！」とウルトラマン発言！！グッチも満足したようで美味しそうにカレーを頬張っている。僕も何か食べたいが、今ガッツリ食べてしまうと晩飯が楽しくないのでポテトフライでガマン。マッタリした後は「宿に行って温泉温泉！！」ということになり松川温泉に向かう。先発隊は今日もまあまあ楽しめたようで宿に戻って来ていて合流。

硫黄の香りがほのかに漂うお気に入りの温泉にどっぷり浸かり、夜はちょっと良いお酒と手巻き寿司で楽しく宴会、宿の暖かい布団で爆睡！！快適ジャー！！

12/30　　源太ヶ岳

メンバー：Ｔ野・Ａ原・Ｉ崎・Ｔ山・Ｙ科・Ｔ村Ｍ・Ｔ村Ｅ

寒波がやってきたようで朝から雪がシンシンと降っているが、今日遊ばないと明日はもっとひどくなる予報なので行けるところまで行こう！！ということでグッチ以外全員で源太ヶ岳に向かう。グッチはスノーシューで雪と戯れたいということで別行動になる。

車道を脛ラッセルで約30分、丸森川を越えたところで山に入る。最初は登りづらい細い尾根を登るが、やがて滑りごろの広い斜面となり帰りが楽しみだ。やがて1146ｍを越えると右側が切れた尾根となり、この辺り、藪が密で傾斜も急で帰りは少し苦労しそうだ。

ただ、幸いなことに大寒波という割には風も弱く視界もまあまあで全くの想定内の天気なので、だんだん欲が出てくる。1384ｍを越えて森から抜ければ、定石通り北側から回り込み源太ヶ岳を目指す。そしたら当初の予想を良い方に裏切って何とサクッと山頂をゲットしてしまった。「やったー！！これなら充分楽しめるじゃん！！」もちろん景色は全く望めないがこれなら上出来である。

さーて、シール外して滑降だ！！斜面が少し見ずらいが雪が良いので1384ｍ付近までパウダーに雄たけびがコダマする。イヤイヤ楽しいね！！山スキーで初めてご一緒するＴ村さん夫妻も楽しそうに滑っている。Ｔ村Ｅさんが「今日が一番楽しい！！」て言っていたので我々後発隊も大寒波を押して遠くまで来た甲斐があった。

■写真上　帰りが楽しみな気持ちの良い森を登る。
■写真中　メルヘンの森には妖精が・・・。
■写真下　北側に回り込んで源太ヶ岳を目指す。

その後、登りの時に藪が濃いと思った所も全然問題なく気持ちいい。そして最後の森の斜面もヒューヒューもんで滑って最後は道路わきの急な壁をずり落ちるようにして車道に降りれば、後は自動運転で松川温泉まで一気に滑りこむことができた。去年も楽しめたけどやっぱいいね、源太ヶ岳は！！

ピクッた後の温泉はまた最高！！冷えた体に熱めのお湯が染み渡る。今日の晩御飯は牛乳鍋と、やっぱりちょっと良いお酒！！Ｉ崎さん、樽酒の出羽桜、ご馳走さんでした！！

■コースタイム

松川温泉（8:10）～（11:15）源太ヶ岳（11:30）～（12:45）松川温泉

12/31　　源太ヶ岳下部の森

メンバー：Ｔ野・Ａ原・Ｉ崎・Ｙ科

昨日に増して朝からワサワサと雪が降っている。車は凄い状態だ。軽く一晩で50cm位降ったようだ。さて、今日どうしよう？おそらく山の上は大荒れだろう。であれば、昨日滑った森の中で降りたてのパウダーをいただくことにしよう！！ということで出発。グッチは今日は奥産道方面にスノーシューハイキングするようだ。

車道を歩きだして分かったが結構深いぞこの雪・・・。膝ラッセルでトップが出るか出ないかギリギリのところだ。銀座のラッセル車、Ｉ崎さんがガンガン雪をかき分けていく。やがて斜面に取り付くと急な所はスキーのトップが出ずに厳しいラッセルとなり、代わりばんこにラッセルすることにしてワシワシ登るが、ペースはそんなに上がらない。ただ、天気は時折薄日が射して森の中が明るくなって気持ちが良い。1146m位まで登ってまずは一本滑ることに・・・。

いざ！！ありゃー！！雪が深すぎて全然板が滑らない。仕方なく登りのトレース沿いを滑るがこれはあまり楽しくない。急斜面ではかろうじてターンができるがそれもあっという間に終わり車道に出てしまう。「もう1本行く？」「もういいんじゃない。」という感じで、そのまま車道を降りて温泉に入ることに・・・。

■写真上　源太ヶ岳山頂！！写真は悲惨っぽいが見た目ほどひどくない。
■写真中　トップが出ない膝ラッセルに苦戦。ちょっと薄日が差すと森がキレイだ！！
■写真下　気持ちいいのはあっという間。

今までの経験上、我々のファットとはいえない我々のスキー板では、登りでトップが出ないようなラッ

セルの時は、滑りもトレースを辿る公算が高いということがわかっているが、今回もまさにそんな感じでした。滑り重視なら今日はゲレンデの方が楽しかったかも・・・。でも、銀座は山屋が多いからラッセルで滑りがそんなに楽しめなくても山を歩く方を選ぶ人が多いかもね。まあ、美しい森の中を彷徨するのも悪くないしね。

　Ｔ野・Ｓ口・Ｔ山は今日で帰京。行きとは全く違う雪景色を楽しみながらガラガラの高速を順調に帰ったとさ。